

展 覧 会	富田碎花展 —受け継がれる ^{うた} 詞—
会 期	2018年9月22日(土)～11月25日(日)
開館時間	午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
休 館 日	月曜日 〔ただし、9/24、10/8は開館、9/25(火)、10/9(火)は休館〕
観 覧 料	一般500円(400円)、大高生300円(240円)、中学生以下無料 括弧内は20名以上の団体料金。高齢者(65歳以上)および身体障がい者手帳・精神障がい者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちの方、ならびにその介護の方は各当日料金の半額。
主 催	芦屋市立美術博物館
後 援	兵庫県、兵庫県教育委員会、公益財団法人 兵庫県芸術文化協会、神戸新聞社、NHK 神戸放送局、ラジオ関西

開催要項

富田碎花は、岩手県盛岡市生まれの詩人です。明治41（1908）年、18歳で与謝野鉄幹・晶子主催の新詩社に加わり、同郷の石川啄木とともに歌会に出席、その年『明星』にて筆名「碎花」で短歌を発表しています。その後は、民衆の生活や心を日常的な口語で表現する民衆詩派の詩人として著名になり、ウォルト・ホイットマンなどの詩の翻訳を通じて大正デモクラシー期の日本に欧米の民主主義の思想を紹介しました。大正2（1913）年に病氣療養のため芦屋を訪れ、大正10（1921）年に定住した後は、亡くなるまで芦屋で過ごしました。

芦屋をはじめ兵庫県の各地を訪れ、長編詩『兵庫讃歌』を発表したほか、芦屋市内の小学校など50以上の校歌や市町村歌、社歌を作詞したことから「兵庫県文化の父」と呼ばれています。

本年は、富田碎花が「碎花」の筆名で短歌を発表してから110年、芦屋を最初に訪れてから105年の記念の年にあたり、改めて芦屋を愛した富田碎花の文学人生をふり返ります。

本展では、多岐に渡る碎花の詩作活動の中から、特に校歌や市町村歌、社歌などに焦点を当て、数々の直筆資料を通して、今も受け継がれる碎花の^{うた}詞の世界をご紹介します。

□同時開催

「芦屋の歴史と文化財」 7月1日－11月25日 1階歴史資料展示室

主な展示作品

1 直筆原稿

歌風土記・兵庫縣

兵庫讃歌

校歌

市町村歌（山崎町町歌）

社歌（別子建設株式会社、ユーハイム）

全国中等野球大会行進曲

全国高等学校野球大会歌（「あゝ栄冠は君に輝く」）※補訂

詩

雑誌（『改造』等）

創作ノート

2 筆跡

掛軸

色紙

3 書簡

4 所蔵品

書籍

陶器

5 愛用品

机、椅子

書齋家具

めがね等

筆記用具

原稿用紙

帽子

6 旅

旅行記、日記

7 富田碎花賞関連

歴代受賞者

同 作品

など総展示数約 100 点

関連事業

1 / 講演会「人を愛した碎花さん」

日時 9月22日(土) 11:00~12:00 (予定)

場所 講義室

講師 三上 良樹氏 (元NHK記者)

小西 巧治氏 (西宮芦屋研究所副所長・神戸国際大学非常勤講師)

演題 「人を愛した碎花さん」

定員 80名

聴講無料 (ただし要展覧会チケット)、事前申込不要

2 / 富田碎花旧居見学会

日時 10月21日(日) 14:00~15:00 (予定)

場所 芦屋市立美術博物館 富田碎花旧居

定員 30名

参加無料 (ただし要展覧会チケット)、参加希望の方はお電話で、

氏名/住所/年齢/電話番号を10月5日(金)17:00までに当館宛にご連絡ください。

応募者多数の場合は抽選になります。

3 / ホールコンサート 「歌で綴る富田碎花の世界」

日時 10月28日(日) 14:00~15:30 (予定)

場所 1階ホール

出演 新井 俊稀氏 (バリトン) 他

定員 80名

鑑賞無料 (ただし要展覧会チケット)、事前申込不要

4 / 富田碎花賞授賞式

日時 11月8日(木) 14:00~15:30 (予定)

場所 講義室

主催 芦屋市教育委員会

5 / ギャラリートーク

日時 9月30日(日)、10月14日(日)、11月11日(日) 14:00~15:00

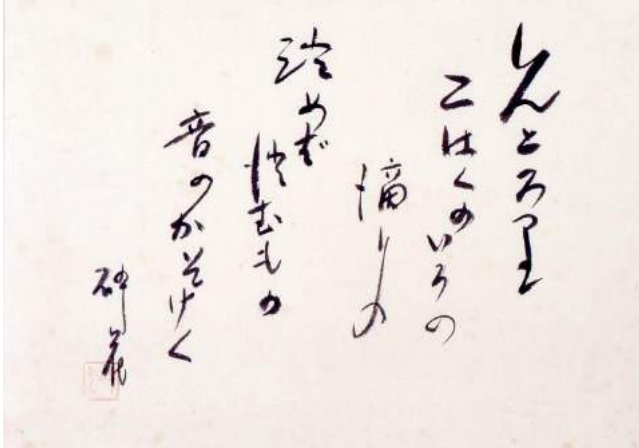
会場 展示室

参加費: 無料 (ただし要展覧会チケット)

広報用画像

本展の画像データをプレス掲載用にご用意しております。

ご希望の際は、別途申込み用紙に必要事項をご記入のうえ当館までご連絡ください。



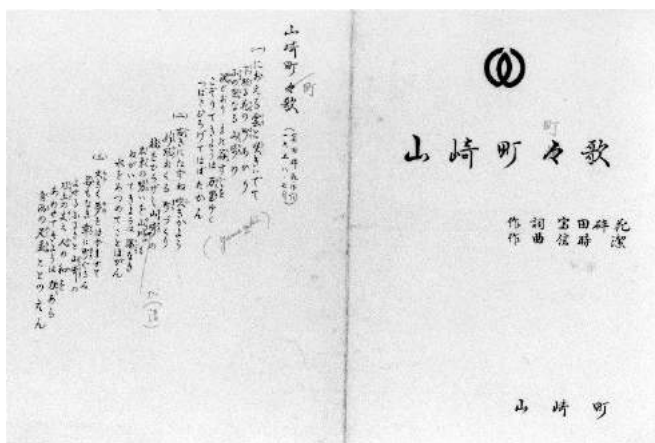
①自筆色紙「しんとろり こはくのいろの
滴りの 澄めば澄むもの 音のかそけく」



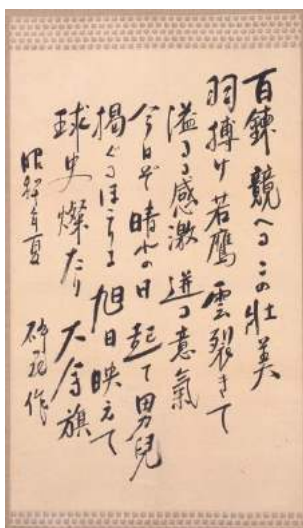
②富田碎花自著



③ユーハイム社歌 原稿 昭和 39 (1964) 年



④山崎町町歌 昭和33(1958)年



⑤全国中等野球大会行進曲 富田碎花自筆幅
昭和10(1935)年



⑥自宅庭にて 昭和55(1980)年

※全て芦屋市立美術博物館蔵

問い合わせ先

○企画内容に関して 担当学芸員：清水 TEL：0797-23-2666(学芸直通)

○画像貸出等広報について TEL：0797-38-5432(代表)

芦屋市立美術博物館

〒659-0052 兵庫県芦屋市伊勢町12-25

◇ホームページ：<http://ashiya-museum.jp/>

◇フェイスブック：芦屋市立美術博物館

◇ツイッター：@ashiyabihaku

芦屋市立美術博物館

富田碎花展

— 受け継がれる詞 —
うた

2018年9月22日(土)～11月25日(日)

FAX 連絡先

0797-38-5434

ご希望の写真番号に○をつけてご返送をお願いいたします。

本展をご掲載いただける場合、読者・視聴者プレゼント用招待券(10組20名様まで)もご用意しておりますので、お気軽にお申し付けください。

番号	作家名・作品名・制作年・所蔵元など
1	自筆色紙「しんとろり こはくのいろの 滴りの 澄めば澄むもの 音のかそけく」
2	富田碎花自著
3	ユーハイム社歌 原稿 昭和39(1964)年
4	山崎町町歌 昭和33(1958)年
5	全国中等野球大会行進曲 富田碎花自筆幅 昭和10(1935)年
6	自宅庭にて 昭和55(1980)年

※全て芦屋市立美術博物館蔵

貴社名		
媒体名	(新聞・雑誌・ミニコミ・TV・ラジオ・その他)	
ご担当者名		
ご住所	〒	
電話番号	TEL	FAX
メールアドレス	@	
URL		
掲載・放送予定日		
招待券希望枚数	組	名分希望

- 写真データの使用は、本展覧会の紹介用のみとさせていただきます。それ以外での使用はできません。
- 本展に関する記事をご掲載いただきました際には、お手数ですが、掲載誌・紙または記録媒体(DVDなど)を当館までお送りくださいますようお願い申し上げます。
- 本展覧会会場の取材、撮影をご希望の場合には、事前にご連絡ください。